

〔第128回銀行業務検定試験〕

「法務3級」「財務3級」団体優秀賞受賞

八十二銀行

～健全経営を堅持し、もって地域社会の発展に寄与する～

今回は、去る平成26年6月1日(日)に実施された第128回銀行業務検定試験「法務3級」「財務3級」において団体優秀賞を受賞されました、八十二銀行へお伺いしました。

八十二銀行は、昭和6年に第十九銀行と六十三銀行が合併して設立され、資本金522億円、従業員数3,223名、預金残高6兆13億円、貸出金残高4兆4,424億円で、国内154店舗(内長野県内134)、海外支店1店舗、駐在員事務所4カ所の拠点を有する金融機関です(平成26年3月31日現在)。
今回、快く取材に応じてくださいましたのは、人事部研修グループの柳澤文成さんです。

●団体優秀賞受賞について

第128回銀行業務検定試験「法務3級」「財務3級」の2種目において、団体優秀賞を受賞されました。
まず、受賞の感想を伺ったところ、「このような結果が得られたことは、非常に嬉しく思っていますし、誇らしく思っています」とお話しされました。
また、目標とする合格率については、「銀行業務検定試験は、ベーシックな知識を習得するには有効と考えていますし、しっかり勉強を行えば合格することは可能だと思いますので、できることなら100%を目指したいです」とのことでした。

●銀行業務検定試験の位置づけについて

「私どもの職階は、アソシエイト1からスタートしまして、アソシエイト2・3と進んでいき、その後はリーダー、マネジメントへと進んでいきます。そのアソシエイト1からアソシエイト2に進む要件の1つとして、銀行業務検定試験の合格を位置づけております。具体的には、『総合職』『業務職』の職種がありますが、総合職の場合は『法務3級・財務3級・税務3級・外国為替3級』のうち3つ、業務職の場合は『法務4級』の合格を要件としています」とお話しされました。
また、銀行が職員に受験を義務づけている試験等につきましては、合格者のための受験料負担等の制度を設けているとのことでした。

●自己啓発について

自己啓発について伺ったところ、「ほとんどの資格取得は、アソシエイト1にのみ義務づけています。つまり、職員として必要なベーシックな知識等については、アソシエイト1の段階で習得することになっています」とのことです。
その後、チャレンジ資格として、法人分野については中小企業診断士等、個人分野についてはFP1級等について推奨しており、お客さまの役に立つような知識の習得について、自主的に取り組めるような制度を構築しています。また、銀行業務検定試験の個人優秀賞受賞者については、取得費用補助対象としてご活用いただいているとのことでした。
八十二銀行では、平成26年4月、設立82周年を記念する事業の一環として、新研修所の建替えを行いました。今後、より一層人材育成に力を入れ、お客さまのニーズに応えることができるようにしていきたいとのことでした。



▲新研修所

●八十二銀行の人材育成

人材育成については、「当行の経営理念が『健全経営を堅持し、もって地域社会の発展に寄与する』とありますように、地域の発展に、いかに協力できるかが当行の役割として求められていることと認識をしています。そのためには、各職員が自ら考えて行動する人材になることが必要だと考えています。職場でいかに人が育つか、人が育つ職場をいかに実現していくかを、試行錯誤しながら進めていきたいと思っております」とのことです。
なお、八十二銀行のありたい姿(長期ビジョン)を、

- ・小気味よいお客さま対応
- ・地域・県民のよりどころ
- ・利用者の立場に立った業務運営
- ・職員一人一人がいきいきはつらつ、責任を持ちスピーディに行動
- ・確実・効率的で安心な事務・システム、事務態勢
- ・健全そのもの、コンスタントで確実な収益体質
- ・先進的で誇れるシステム
- ・高いコンプライアンス意識

の8つの輝きとして掲げています。

●銀行業務検定試験に対する要望

最後に、銀行業務検定試験に対するご要望を伺いました。
「私どもとしては、ベーシックな知識を習得するにあたりましては有効なものと考えて受験をさせていただいております。これからも試験種目が環境の変化に応じて見直されることと思いますが、現在同様、ベーシックな知識を習得する手段としてカバーしていただけるとありがたいと思っております」とお話しいただきました。

(お忙しいなか、取材に真摯にご対応いただきました柳澤さんには心から感謝申し上げます)



▲八十二銀行 本店



▲人事部研修グループ 柳澤文成さん